

第5学年3組 外国語活動学習指導案

指導者：八幡小学校主幹教諭 岡本真砂夫

1 単元名 “What do you have on Monday?” (*We can!* 1 Unit 3)

2 趣 旨

- 本単元で扱う “What do you have on Monday?” の表現では，“learn”ではなく“have”が他動詞として用いられている。この“have”は、本来持っている「所有」の意味から、比喩的拡張により「存在」の意味として扱われている。所有の“have”は *Let's try!* 2 Unit 5 で “Do you have a pen?” が取り上げられている。この単元では店での「買い物ごっこ」に発展させることが可能で、この場合は比喩的拡張により “available” の意味で用いることになる。“have”を用いると既習単語を活用することができ、児童の負担を軽減させられると共に、より自然な英語表現を学べるという利点がある。単語の持つ意味の範疇が、日本語と英語では異なるということを学習できる表現だといえる。本単元では将来の夢を述べ、その夢を実現させるための時間割を作成する構成になっている。夢を表現する際、“I want to be a n.”を用いる。この表現は *We can!* 2 Unit 8 に繋がっている。人によって異なる内容を、互いに尋ね合うのに適した単元であるといえる。
- 本学級の児童は明るく素直で、前向きに外国語活動に取り組んでいる。大きな声で発音する児童は多くないが、声を出して練習することが英語の力を高めるために大切だと理解しており、意欲を持って授業に取り組んでいる。5年生児童は昨年度、英語教室で年間15時間の外国語活動に取り組んでおり、“like”を用いた対話や閉質問の受け答え、対話文を定着させるためのゲーム活動、40までの数唱等に合わせ、“have”を用いた表現を学習している。一方、場面を設定しての「なりきり」活動、名簿を用いたインタビュー活動等の経験は少ない。また、対話文、語彙の蓄積がまだ十分ではなく、教師によるスモールトークの理解に難しさを感じる児童が多い。
- 本単元では対話例を示すことにより、比喩的拡張による“have”について理解させた上で、チャンツ等の活動を通じて表現を定着させたい。まずは *We can!* テキストやインフォメーションギャップゲーム等を通じて時間割について尋ねる表現に慣れさせる。その際、他国の時間割を紹介し、国による教科、文化の違いを理解させる。次に、様々なキャラクターに合う時間割を考えさせる。単にイメージに合う教科を並べるのではなく、キャラクターの特徴を考え、為になる時間割を組み合わせることとする。次に、自分たちの「時間割」を考えさせる。その際、将来の夢を踏まえた上で夢のための時間割を作成することに発展させる。また、時間割について交流をする際には“Why?”を用いて理由を尋ね合うことで、時間割に込めた思いを共有させる。“Why?”に対する返答は英語では未習事項が多く難しいため、コミュニケーション活動を優先し、日本語で答えさせる。文字については、教科名をなぞる等の活動を通じて小文字を用いた単語に慣れさせていくこととする。

3 小中一貫教育の視点

曜日と教科は、中学校1年生の *Words & Sounds 2* にて語彙が扱われている。“have”は、Lesson 3 “I like soccer.” にて、“What do you have?” が扱われており、本時で表現に慣れ親しむことで中学校での英語学習にも円滑な接続を図ることができる。単元は、*New Crown* (三省堂) を参照。

4 単元の目標

- 教科について聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の小文字を識別し、読むことができる。(知識及び技能)
- 学校生活に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えたり、時間割について伝え合ったりする。(思考力、判断力、表現力等)
- 他者に配慮しながら、時間割やそれについて自分の考えなどを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

5 主な言語材料

- ・ Do you have (P.E.) on (Monday)? Yes, I do. / No, I don't. What do you have on (Monday)? I study (math). Why?
- ・ 教科 Japanese, English, math, social studies, home economics, calligraphy, moral education, P.E.

6 指導計画（全5時間）

- 第1時 時間割の言い方や、世界の学校生活に出会う。
- 第2時 インフォメーションギャップゲームを通じて、表現を定着させる。
- 第3時 キャラクターに合った時間割を作成する（本時）。
- 第4時 夢のための時間割やオリジナル時間割を作成する。
- 第5時 夢のための時間割を発表する。

7 本時の目標（3／5時間目）

- 教科、曜日の表現を用いてキャラクターの時間割を作成し、友達とのやり取りを楽しむ。

8 本時の展開

学 習 活 動	教師の支援と指導上の留意点 ●評価	備 考
1. Greeting 挨拶の練習をする。	“fine”“good”“OK”“well” と、ポジティブな挨拶を交わす。	フラッシュカード
2. デイタッチゲームを楽しむ。	フラッシュカードで曜日に慣れさせた後、タッチゲームを通じて語彙、プロソディーに慣れさせる。	ICT 機器
3. Small talk	マペットと対話して見せることで、既習表現を思い起こさせる。	マペット
4. 英語カルタをする。	曜日の単語に慣れさせる。	英語カルタ
5. チャンツを練習する。	時間割を尋ねる英文に慣れさせる。	チャンツ
6. おはじきゲームをする。	教科の単語を反復練習させる。	おはじき, シート
7. キャラクターの時間割を作成する。	それぞれのキャラクターに最も適した時間割を考えさせる。	ワークシート
8. 時間割を交流する。	作成した時間割について互いに尋ね合い、交流をする。	名簿, ボード
作成した時間割を使って、友達と交流をしよう。		
	<ul style="list-style-type: none"> ● 英語の音、時間割の理由を意識しながら伝え合おうとしているか。 	
9. 教科のプリントを記入する。	教科名をなぞらせ、小文字を用いた単語に慣れさせる。	ワークシート
10. Greeting 挨拶をする。	児童と挨拶をする。	